

『飯水教師塾』のお誘い

＝＝学び合う共同体 飯水教育会＝＝

第3回 「正受老人の生き方に学ぶ」

講師 長瀬 哲 先生（飯山市教育長）
とき 11月22日（火） 17：30～18：30
ところ 飯水教育会館 大会議室

第3回目は、飯山市教育長 長瀬哲先生を講師としてお招きして「正受老人の生き方に学ぶ」という内容でお話をお聞きします。正受老人として知られる道鏡慧端（どうきょう えたん）は飯山出身の臨済宗の僧侶で松代城主真田信之の庶子として伝えられ、寛永19年（1642年）飯山城で出生しました。

慧端が13歳の時に、その時の飯山城主松平忠俱に講義のため登城してきた禅僧に「おまえさんにはすでに観音様がついていらっしゃる。」と告げられた事をきっかけに自己探求を行い、16歳で悟りを開きます。後に江戸や東北諸国行脚を行い、慧端は24歳の時に飯山に帰郷します。このことを喜んだ松代城主忠俱は慧端に小庵を建立して慧端に贈りました。これが正受庵です。正受老人の生き方や教えについて、先生が学ばれたことについてお話をさせていただきます。ぜひ、ご参加下さい。

「飯水教師塾」では、会員の先生の日々の課題や悩みに目を向けその解決を図りながら、共に学び合うことができるような場になればということで、本年度も5回の予定で開講します。

この「教師塾」は、教育会員の声から始まった会です。自ら求め、学び合う仲間同士が、日々児童生徒の前に自信をもって立つことができるような会にしていきたいと考えています。ぜひ、多くの先生方にご参加いただければと思います。参加を希望される先生方は、ご自分の学校の代議員の先生へお申し出ください。

今年度も、講師の先生のお話の前に、「読み合わせ」を行います。（17：30～17：50）。毛涯章平先生の『道遠し』をお持ちの方は、当日持参して下さい。お持ちでない方の分は、飯水教師塾委員会で準備します。ぜひ、多くの先生方のご参加をお願いします。

主催 飯水教師塾委員会

きりとり

第3回飯水教師塾（11/22【火】開催）に参加します。

学校名

お名前

※ 各学校の代議員の先生まで、この用紙をお出してください。